

筆譯理論及實踐

蘇 定東

一、翻譯の難しいところ：

嚴復：「一名之立，旬月踟躕」（時には一つの訳語を決めるのに、十日も一月もためらった）

魯迅：「翻譯是再創作」（翻譯は再創作である）

二、いい翻譯の基準：

嚴復：信、達、雅

魯迅：「凡是翻譯，必須兼顧兩面，一當然力求易解，二則保存原著的風采」（およそ翻譯は二つの面に気をくばらなければならぬ。一つはもちろんわかりやすくすることに務めることで、もう一つは原作の美しい姿を保つことである）

総合すると、「正確に」と「わかりやすく」、「原作を全体的に把握して、その内容と風格を忠実に訳出しなければならない」

三、翻譯者に必要な条件は？

- (1) 自分の翻譯の仕事に関係のある外国語について相当なレベルを有し、常にそのレベルアップをはからなければならない。
- (2) 母国語についての自分のレベルを高めることもきわめて重要である。
- (3) 翻譯の理論や法則、テクニク、ノウハウを把握し、駆使しなければならない。
- (4) 豊かな知識と生活体験を有することも、翻譯者にとって必要不可欠な条件である。

四、翻譯者になるトレーニングの方法：

- (1) 実践がなければ翻譯者にはなれない。
- (2) ものを書くことが好きでなければならない。
- (3) 言語に対して高度な好奇心を持っていること。
- (4) 言葉が豊富で表現力が優れていること。

五、台湾における翻譯の市場

- (1) 相場 - 印税、原稿料
- (2) 「ロード・オブ・ザ・リング」 - 魔戒
- (3) 寄稿、作曲、脚本、アニメ、漫画

* 翻譯作品：遠藤周作精選小説集、21世紀的外食産業、宗教法人之法律問題、宗教法人之法律與會計、日本市町村之合併、學術論文集等。

六、公文書の翻訳と一般の翻訳と、どう違うか

- (1) 一定のフォームがある。
- (2) 台湾式と日本式、そのまま言葉の引越しをしてはいけない。
- (3) 言葉遣いに改まる感じがする。
- (4) 言葉に対する要求が高い。
- (5) 年号を西洋式にする。